

教室チーフ 各位  
教室インストラクター 各位

栄区囲碁普及会会長  
牧野 博

### 囲碁のマナー指導の徹底に関して

日頃、各教室に置かれましては、囲碁対局時のマナーについてご指導されておられることは承知しておりますが、昨年同様期末に向け囲碁のマナー順守月間を設け、受講生への指導徹底化をはかることとしました。

私たちの活動は囲碁普及を通し礼儀、マナー、コミュニケーションなどの人格形成の補完を目的とするものです。私どもインストラクターも襟を正し、受講生の方々に範を垂れるとともに3月の認定会に向け徹底のご指導を願いたくお願いする次第です。

ただ、マナーといっても一律なものではなく入門、初級、上達の各段階で求めるものは違ってよく、各教室インストラクター間で討議して頂きたいと思います。

つきましては、下記期間を囲碁のマナー順守強化月間と定め、受講生への指導の徹底化を図りたくご協力よろしく申し上げます。

#### 記

- 1 囲碁のマナー順守強化月間
- 2 期間 平成29年1月1日～2月28日
- 3 目的 楽しく囲碁を打てる環境を共有するために、自らの囲碁を打つ姿勢、マナーを見直すこと
- 4 主たる活動
  - 期間中1回以上、講座の前にマナーの話をしてください
  - 教室内に守るべき事項の掲示をしてください
  - 違反した人には都度注意してください

以上

追記 関連資料につきましては別途、送付させていただきます

## 囲碁のマナー

＜栄区囲碁普及会：マナー順守強化月間 平成29年1月1日～2月28日＞

囲碁は「棋道」ともいいます。書道、茶道、柔道、剣道などと同じように「道」を求める文化であり、頭脳スポーツです。礼に始まり礼に終わるだけでなく、目上の人を敬い、年下の人にも優しく接し、礼儀正しくすることが大事です。

ここに主なるものを書きましたが、要するに相手が不愉快にならないようにすることです。

## 対局者のマナー

- \* 対局の初めには「お願いします」、終わったら「ありがとうございました」と言いましょう。
- \* 碁笥に手を入れてガチャガチャしない
- \* 石を手を持ってジャラジャラさせない。
- \* 碁石を持ったまま碁盤の上をウロウロしない。打つところが決まってから石を持つ。
- \* 碁盤の上を指でなぞったりしない。
- \* 盤上の交点にきちっと置く。盤上を引っぱって打たない。
- \* テーブルに肘をついて打たない。
- \* 待った、ハガシなどをしない。これはマナー違反ではなく反則。
- \* 長過ぎる考えはいけません。栄区囲碁普及会の対局時間は二人で50分以内です。
- \* 挽回不可能で負けが明らかな時は潔く「負けました」と言いましょう。
- \* 時計の押し忘れはお互いに注意し合いましょう（栄区囲碁普及会のローカルルールとして認めています）。  
但し、他の大会では認められていません。
- \* 地を数え終わったら、どちらが何目勝ったかを確認する。大会では確認しないとトラブルの原因になります。

インストラクターも全員自ら範を示し、マナー違反にはその都度注意してください。

マナー向上はご本人の為に良いことです。